

国語26 随筆の書き方を知ろう

経験をもとに自分の思いを書いた随筆の書き方がわかる。

★小田さんの随筆の下書きを読んで答えましょう。

「めん」と打ちこんだ瞬間、頭の中が真っ白になる。竹刀をにぎる指先から頭のとっぺんまで電気が走ったようにしびれて、ふわっとした熱い空気が体中を回る。それから急にすずしい風が矢のように体を通りぬけていく。わたしは、その瞬間が好きだ。弟は体が弱くて、すぐに高い熱を出しては病院通いをしてきた。幼稚園に入ってから、よく泣かされて帰った。わたしが、

「どうしたの。」と聞く、また泣き出してしまふ。父と母とわたしは、弟の泣き虫を治す方法を考えるために家族会議が開かれた。やはり運動をして体をきたえるのがよいだろうということになった。いろいろ話し合っ、精神力もつくし、礼儀正しくなれるからという理由で、剣道をやらせることに決まった。わたしは、最初、あまり剣道を習いたくなかった。なぜかという、男の子みたいに思われるのがいやだったからだ。けれども、弱虫の弟のことを考える

- 1 小田さんは、文章を読み返して、次の文を付け加えることにしました。それぞれ、ア～エのどこに入れるとよいですか。
2 小田さんが、次の感覚を、たとえを使って表現している言葉を書きぬきましょう。
3 小田さんは、上の随筆の題をたてて、三つの候補がありました。次のように考え、決めたのはどの題ですか。
4 小田さんは、上の随筆の題をたてて、三つの候補がありました。次のように考え、決めたのはどの題ですか。
5 小田さんは、上の随筆の題をたてて、三つの候補がありました。次のように考え、決めたのはどの題ですか。

- 1 小田さんは、文章を読み返して、次の文を付け加えることにしました。それぞれ、ア～エのどこに入れるとよいですか。
2 小田さんが、次の感覚を、たとえを使って表現している言葉を書きぬきましょう。
3 小田さんは、上の随筆の題をたてて、三つの候補がありました。次のように考え、決めたのはどの題ですか。
4 小田さんは、上の随筆の題をたてて、三つの候補がありました。次のように考え、決めたのはどの題ですか。
5 小田さんは、上の随筆の題をたてて、三つの候補がありました。次のように考え、決めたのはどの題ですか。

国語27 まとめのテスト

6年までに習ったこと
6年の夏休みまでに習った漢字を正しく書くことができる。
言葉のいみや組み立て、はたらきがわかる。

- 1 「」の文と同じ意味を表す文になるように、合う漢字の言葉に「」をくっつけましょう。
2 「」の文と同じ意味を表す文になるように、合う漢字の言葉に「」をくっつけましょう。
3 「」の文と同じ意味を表す文になるように、合う漢字の言葉に「」をくっつけましょう。
4 「」の文と同じ意味を表す文になるように、合う漢字の言葉に「」をくっつけましょう。

- 1 漢字を書きましょ。言葉は、漢字を送りがなて書きましょ。
2 漢字を書きましょ。言葉は、漢字を送りがなて書きましょ。
3 漢字を書きましょ。言葉は、漢字を送りがなて書きましょ。
4 漢字を書きましょ。言葉は、漢字を送りがなて書きましょ。

- 1 わたしには夢がある。それは、子どもたちを楽しませるまが家になることだ。
2 海でくらす生き物の中には、光を発する生物がいる。ホタルイカはその一つで、何かにふれると発光する性質がある。
3 光を発する生物の
4 とも、それ、その中から、
5 光を発する生物の

- 1 わたしには夢がある。それは、子どもたちを楽しませるまが家になることだ。
2 海でくらす生き物の中には、光を発する生物がいる。ホタルイカはその一つで、何かにふれると発光する性質がある。
3 光を発する生物の
4 とも、それ、その中から、
5 光を発する生物の